

【17】柔道競技

1 期 日 平成 27 年 8 月 16 日 (日) 1 日間

種 別	8月16日 (日)
成年女子	各府県総当たりリーグ戦
少年男子	
少年女子	

2 会 場 交野市立総合体育施設(いきいきランド交野)
〒576-0065 交野市向井田 2-5-1 TEL 072-894-1181

3 種別及び参加人員

種 別	本大会出場府県数	監 督	選 手	参加府県数	小 計	合 計
成年女子	1	1	3	5	20	70
少年男子	3	1	5	5	30	
少年女子	3	1	3	5	20	

4 競技上の規定及び方法

- (1) 各種別とも府県対抗、得点試合、リーグ戦を実施する。
- (2) 試合は、2014 年 1 月より国際柔道連盟が施行している国際柔道連盟試合審判規定で行い、試合時間はすべて 4 分間とする。
 - ア 勝敗の決定基準は「一本」「技あり」「有効」「僅差」とする。「僅差」とは、双方の選手間に技による評価(技あり・有効)がない、または同等の場合、「指導」差が 2 以上あった場合に少ない選手を「僅差」による優勢勝ちとする。得点差がなく、かつ「指導」差が 1 以内の場合は「引き分け」とする。
 - イ 府県対抗の勝敗決定方法
 - (ア) 勝者数(「一本勝ち」「優勢勝ち」等を問わない)の多い方を勝ちとする。
 - (イ) 勝者数が同じ場合は、「一本勝ち」の多い方を勝ちとする。
この場合「不戦勝ち」「棄権勝ち」「反則勝ち」も「一本勝ち」と同等に扱う。
 - (ウ) 前項において「一本勝ち」が同数の場合は、「技あり勝ち」の多い方を勝ちとする。
 - (エ) 前項において「技あり勝ち」が同数の場合は、「有効勝ち」の多い方を勝ちとする。
 - (オ) 内容が同等の場合は、引き分けとする。
 - (カ) リーグ戦で引き分けの場合は、「引き分け」であった対戦のなかから抽選で 1 組を選び、3 分間のゴールデンスコア方式の代表戦により、勝敗を決する。(先に「有効」以上の技評価を得た選手が勝ちとなり、先に「指導」を与えられた選手が負けとなる。)両者のポイント、指導がなかった場合、旗による「判定」で勝敗を決定する。
 - ウ 府県対抗順位決定方法
 - (ア) 勝ち数の多いチームを上位とする。
 - (イ) (ア)の内容が同じ場合には、チームの負け数の少ない方を上位とする。
 - (ウ) (イ)の内容が同じ場合には、全試合を通じて勝者数の多いチームを上位とする。
 - (エ) (ウ)の内容が同じ場合には、「一本勝ち」相当の勝者数の多いチームを上位とする。
 - (オ) (エ)の内容が同じ場合には、技あり勝ちの勝者数の多いチームを上位とする。
 - (カ) (オ)の内容が同じ場合には、有効勝ちの勝者数の多いチームを上位とする。
 - (キ) (カ)の内容が同じ場合には、全試合を通じて敗者数の少ないチームを上位とする。
 - (ク) (キ)の内容が同じ場合には、一本負け相当の少ないチームを上位とする。
 - (ケ) (ク)の内容が同じ場合には、技あり負けの少ないチームを上位とする。
 - (コ) (ケ)の内容が同じ場合には、有効負けの少ないチームを上位とする。
 - (サ) (コ)の内容が同じ場合には、リーグ戦で対象となるチーム間で勝敗がついている場合は、勝ちチームを上位とする。
- (3) 参加申込の選手が負傷等のため参加不能の場合は、他の選手をもって代えることができる。ただし、平成 27 年 8 月 15 日(土)午後 5 時までに大阪府柔道連盟事務局に所定の手続きを完了した者に限る。それ以降は棄権とする。また、男子は 3 名、女子は 2 名以上の棄権者が出た場合は、それ以降の試合を不戦敗とする。なお、不戦敗チームのそれまでの戦績は有効とする。

- (4) 競技に際し柔道衣(背中)には、必ず府県名と苗字(姓)を明示したゼッケンを縫いつける。(ゼッケンの重ね縫いは禁止する。) その方法は下図の例による。

図1 ゼッケンの縫い付け方

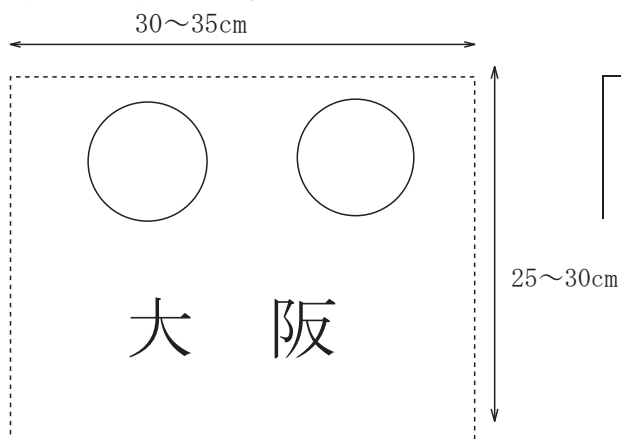
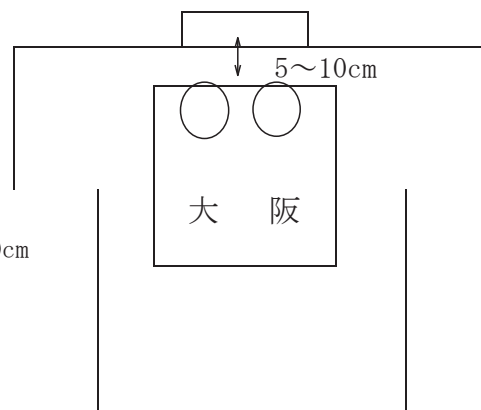


図2 ゼッケン位置



- ① 縦横並びに対角線……の部分縫いつけること。
- ② 図2の通り、後ろ襟から5~10cm下部にゼッケンを縫いつけること。
- ③ 苗字(姓)は上側2/3 府県名は下側1/3。
- ④ 書体は、太いゴシック体(または楷書体)、男子は黒色、女子は濃赤色。
- ⑤ サイズは縦25~30cm、横30~35cmとする。

5 参加資格、所属府県及び選手の年齢基準

第70回国民体育大会参加資格、所属府県及び選手の年齢基準によるもののほか、次による。

- (1) 参加選手の段位は、講道館の段位による。
- (2) 体重制限のある選手は、いずれも平成27年8月16日(日)午前9時30分から10時00分までに計量に合格すること。(計量器には1回限り上がるができる。)
- (3) 選手の配列順位
 - ア 少年男子
選手は、大将(体重無差別)、副将(体重90kgを超え100kg以下)、中堅(体重73kgを超え90kg以下)、次鋒(体重60kgを超え73kg以下)、先鋒(体重60kg以下)の順に配列すること。
 - イ 成年女子・少年女子
選手は、大将(体重無差別)、中堅(体重52kgを超え70kg以下)、先鋒(体重52kg以下)の順に配列すること。
- (4) 監督は、公益財団法人日本体育協会公認スポーツ指導者制度に基づく、公認柔道コーチ、公認柔道上級コーチ、公認柔道指導員、公認柔道上級指導員の何れかの資格を有する者。

6 開始式

日 時 平成27年8月16日(日)10時30分～
会 場 交野市立体育館

7 その他

- (1) 審判・監督会議

日 時	平成27年8月16日(日)午前10時00分～10時20分
場 所	交野市立体育館 大会議室
- (2) 計 量

日 時	平成27年8月16日(日)
	非公式計量：午前9時00分～9時30分
	公式計量：午前9時30分～10時00分
場 所	交野市立体育館

- (3) 各府県・学柔連並びに高体連は、審判員名を下記宛報告すること。(別途事務連絡) 原則として、Aライセンスの保持者とする。

〒536-0022 大阪市城東区永田4-15-11 TEL06-6964-5553. FAX 06-6964-5554
大阪府柔道連盟事務局 第70回国民体育大会近畿ブロック大会係